

表 2020年大統領選挙の民主党候補者および世論調査支持率

名前	キニピアク大学 11月世論調査 支持率 (%)	年齢 (歳)	政治経験年数 (年)	第6回討論会 参加予定者 ※確定者のみ	現職・前職	SNSなどで言及した主な項目
1 ジョー・バイデン	24	77	44	○	オバマ政権当時の副大統領	教育制度、ヘルスケア
2 ピート・ブッティジェッジ	16	37	17	○	現インディアナ州サウスベンド市長	経済格差、外交政策
3 エリザベス・ウォレン	14	70	10	○	現連邦上院議員(マサチューセッツ州)	企業政策、経済格差、ヘルスケア
4 バーニー・サンダース	13	78	38	○	現連邦上院議員(バーモント州)	ヘルスケア、企業政策
5 カマラ・ハリス	3	55	16	○	現連邦上院議員(カリフォルニア州)	マイノリティ差別、教育制度、賃金格差
6 エイミー・クロブチャー	3	59	12	○	現連邦上院議員(ミネソタ州)	インフラ整備、選挙制度
7 マイケル・ブルームバーグ	3	77	12		前ニューヨーク市長	銃規制
8 コーリー・ブッカー	2	50	17		現連邦上院議員(ニュージャージー州)	司法制度、マイノリティ差別
9 アンドリュー・ヤン	2	44	1年未満		起業家(ニューヨーク出身)	経済格差、経済政策
10 マイケル・ベネット	2	55	9		現連邦上院議員(コロラド州)	ヘルスケア、税制
11 フリアン・カストロ	2	45	18		オバマ政権当時の住宅都市開発長官	選挙制度、マイノリティ差別
12 タルシ・ガバード	1	38	17		現連邦下院議員(ハワイ州)	外交政策、企業政策
13 トム・スタイヤー	-	62	1年未満		慈善事業家、NextGen Climate創業者(ニューヨーク出身)	企業活動の改善
14 スティーブ・ブロック	-	53	10		現モンタナ州知事	財政改革
15 マリアンヌ・ウィリアムソン	-	66	5		作家(カリフォルニア州下院議員立候補経験有)	家庭問題、外交政策
16 ジョン・ディレイニー	-	56	6		元連邦下院議員(メリーランド州)	ヘルスケア、経済政策、内政問題
17 ジョー・セスタク	-	67	4		元ペンシルベニア州下院議員	気候変動、社会変革
18 デバル・パトリック	-	63	8		前マサチューセッツ州知事	ヘルスケア、税制、学生ローン軽減

(注) エリック・スワルウェル、マイク・グラベル、ジョン・ヒッケンルーパー、ジェイ・インスリー、セス・モルトン、キルステン・シリブランド、ビル・デブラシオ、ティム・ライアン、ベト・オルーク、ウェイン・メッサム  
の各氏は撤退を表明。18.パトリック氏、7.ブルームバーグ氏は、2019年11月14日、24日に立候補表明。

(出所) 各種報道を基にジェトロ作成